

プレスリリース [令和4年1月21日]

(計 1枚)

第30回全国救急隊員シンポジウムで特異症例の ひとつとして加賀市消防本部が選ばれ発表を 行います

全国救急隊員シンポジウムは、全国の救急隊員等を対象とした実践的観点からの研究発表や最新の医学知識を学ぶ場を提供することにより、消防機関の行う救急業務の充実と発展に資することを目的としています。(シンポジウムHPより一部抜粋)

今年で第30回を迎え、全国から多くの消防機関を中心とした医療従事者が参加する大規模で歴史あるシンポジウムです。全国の消防機関の注目度も高く、本シンポジウムの演題発表には査読委員会における厳正な審査があり、本市消防本部の救急活動や検証成果が、昨年引き続き2年連続採用されたことは、大変意義あることです。

なお、本症例の発表に際しては、河中拓郎救急救命士が発表内容を作成し、石川県立中央病院救命救急科、寺島良(てらしま りょう)医師より監修をいただいています。

【シンポジウム概要】

開催日 1月27日(木)、1月28日(金)

開催地 群馬県高崎市

主催 高崎市等広域消防局、群馬県、一般財団法人 救急振興財団

【加賀市消防本部の発表について】

発表時間 1月28日(金) 10時45分～

※新型コロナウイルスの影響でWEB上での開催になります。

発表内容 硝酸により眼球を受傷し化学損傷を呈した事案

発表者 加賀市消防本部 大聖寺分署

救急救命士 河中 拓郎(かわなか たくろう)

発表場所 加賀市消防本部 加賀市消防署 第1会議室

本件へのお問合せ先
加賀市消防本部 大聖寺分署 担当：坂本 卓也 TEL 0761-73-0119

